



建設技 第 5354 号
平成 30 年 1 月 31 日

株式会社 中野建設 様

佐賀県知事 山口 祥義



建設材料試験成績書について(通知)

平成 29 年 12 月 13 日付けで依頼された
アスファルト混合物事前審査制度 試験の結果は、別紙のとおりです。

平成 30 年 1 月 31 日

建設材料試験成績書

平成 29 年度

試験名 アスファルト混合物 事前審査

調査名 自 家 用

合材の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物

MG-13 (75) 改質 I 型

プラント名 (株) 中野建設 鹿島合材工場

依頼者名 株式会社 中野建設

佐 賀 県

事前審査認定アスファルト混合物（一般・耐流動混合物 [バッチ式] ）用 総括表

建設技第	5354 号		有効期間	平成 30 年 1 月 31 日 ～平成 31 年 1 月 30 日		
依頼者名	株式会社 中野建設					
混合物の名称	密粒度ギャップアスファルト混合物（最大粒径13mm）MG-13（75）改質I型					
使用Asの名称	改質アスファルトI型		Asメーカー	ニチレキ㈱		
使用骨材の室内配合・産地			現場配合			
骨材名	配合比(%)	成績書番号又は会社名	種別	配合比(%)	計量値(kg)	
6号碎石	61.5	平成29年1月10日 建設技第4921号	3BIN	57.8	578	
粗砂（海砂）	12.6	平成29年5月23日 建設技第1177号	1BIN	29.6	296	
細砂（海砂）	19.0	平成29年6月27日 建設技第1688号				
石粉	6.9	福岡県田川市大字弓削田2803番地の1 船尾鉦山（株）	石粉	7.6	76	
			ダスト			
			アスファルト	5.0	50	
計	100.0		計	100.0	1000	
通過質量百分率 (%)	ふるい目	室内配合	現場配合	確認抽出試験	粒度範囲	
	53 mm				—	
	37.5 mm				—	
	31.5 mm				—	
	26.5 mm				—	
	19 mm	100.0	100.0	100.0	100	
	13.2 mm	100.0	99.4	100.0	95～100	
	4.75 mm	40.6	41.3	42.5	35～55	
	2.36 mm	37.3	37.7	37.7	30～45	
	600 μm	28.4	26.1	27.9	20～40	
	300 μm	23.7	23.2	20.5	15～30	
	150 μm	11.6	10.9	8.6	5～15	
75 μm	6.5	6.7	5.1	4～10		
		室内配合	現場配合	確認試験	基準値	
アスファルト量	(%)	5.0	5.0	5.09	4.5～6.5	
安定試験	密度	(g/cm ³)	2.448	2.445	2.474	—
	理論密度	(g/cm ³)	2.555	2.555	2.555	—
	空隙率	(%)	4.2	4.3	3.2	3～7
	飽和度	(%)	73.9	73.5	78.9	65～85
	安定度	(KN)	13.02	12.83	9.65	4.90以上
	フロー値	(1/100cm)	28	31	31	20～40
	動的安定度	(回/mm)	—	—	6000以上	3000以上
	基準密度	(g/cm ³)	—	2.445	—	—
混合物出荷目標温度		165±20℃				
摘要 動的安定度が6000回/mmを超えている場合は、6000回/mm以上と報告をしています。（「舗装調査・試験法便覧[第3分冊][3]-53ページ」による）					署名者 技術管理者 	

加熱アスファルト混合物 室内配合試験 結果表

調査名：自家用

依頼者名：株式会社 中野建設

施工場所：

試料の種類：密粒度ギャップアスファルト混合物（最大粒径13mm）

（呼び名） MG-13 (75) 改質 I 型 （ ） 内数字は室内配合試験時の突固め回数です。

1. 合成粒度

ふるい目の開き	53mm	37.5mm	26.5mm	19mm	13.2mm	4.75mm	2.36mm	600 μ m	300 μ m	150 μ m	75 μ m
合成粒度(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	40.6	37.3	28.4	23.7	11.6	6.5
粒度範囲(%)	100	100	100	100	95~ 100	35~ 55	30~ 45	20~ 40	15~ 30	5~ 15	4~ 10

2. 示方配合（質量百分率）

材料の種類	S-40 (3号)	S-30 (4号)	S-20 (5号)	S-13 (6号)	S-5 (7号)	スクリー ニングス	粗砂 (海砂)	細砂 (海砂)	フィラー	アスフ アルト	合計
配合率(%)				58.3			12.0	18.1	6.6	5.0	100.0

3. マーシャル性状

項目 (単位)	室内密度 (g/cm^3)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)
試験結果	2.448	4.2	73.9	13.02	28
基準値	—	3~7	65~85	4.90以上	20~40

4. 示方配合理論密度(g/cm^3) = 2.555

摘 要

署名者

技術管理者

安慶
浩

使用材料総括表 (1)

1. 使用材料の種類及び産地等

使用材料	産地及び購入先	備考
S-13(6号)粒径13~5mm	多久市東多久町大字納所4624-1 (株)ケグチ	平成29年1月10日 建設技第4921号
粗砂 (海砂)	長崎県老崎市石田町 沖合 (株)有明商事	平成29年5月23日 建設技第1177号
細砂 (海砂)	長崎県長崎市神浦江川町母子島 地先 (株)有明商事	平成29年6月27日 建設技第1688号
石粉	福岡県田川市大字弓削田2803番地の1 船尾鉱山 (株)	成績書
アスファルト	ニチレキ(株)	成績書

2. 使用アスファルトの品質試験結果表

種類	改質アスファルト I 型		
項目	[単位]	試験結果	標準的性状
針入度 (25℃)	1/10mm	55	40以上
軟化点	℃	54.5	50.0以上
伸度 (7℃)	cm	54	30以上
伸度 (15℃)	cm	—	—
引火点	℃	322	260以上
薄膜加熱質量変化率	%	+0.01	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	78.2	65以上
タフネス (25℃)	N・m	13.5	5.0以上
テナシティ (25℃)	N・m	8.3	2.5以上
—	—	—	—
—	—	—	—
密度 (15℃)	g/cm ³	1.031	試験表に付記
最適混合温度範囲	℃	167~173	試験表に付記
最適締固め温度範囲	℃	152~158	試験表に付記
(備考)			
ガムファルト S			

舗装調査・試験法便覧 **ホイールトラッキング試験** 試験年月日 平成 30年 1月 24日

調査名：自家用

施工場所：

製造会社名：

依頼者名：株式会社 中野建設

混合物の種類：密粒度ギャップAs混合物 MG-13(75)改質I型

混合物の基準密度(g/cm³) 2.445 供試体の作製場所 室内 換算係数 C₂= 1.0

試験条件	上載荷重 (N)	686	60°C接地圧 (MPa)	0.629~0.632
	試験温度 (°C)	60±0.5	走行回数	42回/分
	走行方法	クランク	換算係数 C ₁ =	1.0

供試体番号		1	2	3	平均
(1) 空中重量 (g)		10974.7	10982.8	10961.3	
(2) 水中重量 (g)		6546.5	6557.5	6522.3	
(3) 表乾重量 (g)		11009.5	11013.8	11001.0	
(4) 供試体体積 (cm ³)	(3)-(2)×1	4463.0	4456.3	4478.7	
(5) 供試体密度 (g/cm ³)	(1)/(4)	2.459	2.465	2.447	2.457
(6) 締固め度 (%)	(5)/基準密度×100	100.6	100.8	100.1	100.5
変形量 (mm)	(7) d30	1.01	1.00	0.84	
	(8) d45	1.12	1.10	0.92	
	(9) d60	1.20	1.17	0.97	
(10) 変形量の差 (mm)	(9)-(8)	0.08	0.07	0.05	(11) 0.07
(12) 動的安定度(DS・回/mm)	$\frac{15}{(10)} \times 42 \times C_1 \times C_2$	7875	9000	12600	
(13) 平均動的安定度(DS・回/mm)	$\frac{15}{(11)} \times 42 \times C_1 \times C_2$				9000
(14) 平均値との差の平方	$((13)-(12))^2$	1265625	0	12960000	
(15) 標準偏差	$\sqrt{\Sigma(14)/(n-1)}$				2667
(16) 変動係数 (%)	(15)/(13)×100				29.6
圧密変形量 (mm)	d _s	0.88	0.89	0.77	0.85
時間-変形量曲線の形状		上凸型	変曲型	上凸型	
備考					